

《2020年6月（通算284回）月例会報告》

NPO サロン総会後の意見交換会

—「with コロナ」時代の月例会を中心に—

【日時】2020年6月20日（土）16:30～18:00（その後は「オンライン懇親会」。22時頃まで）

【会場】それぞれの居場所（ZOOM月例会）

【テーマ】NPOサロン総会後の意見交換会—「with コロナ」の時代に向けて

【参加者12名】

＜NPOサロン会員（8名）＞

安藤裕一（GMSS ヒューマンラボ）、金子正彦（会社員）、岸卓巨（JADA）、笹原勉（㈱日揮）、関秀忠（弁護士）、茅野英一（帝京大学）、中塚義実（筑波大学附属高校）、本多克己（㈱シックス）、

＜スポネットサロンメンバー（4名）＞

浅見明子（J-Workout）、小池靖（在さいたま市サッカースポーツ少年団指導者）、徳田仁（㈱セリエ）、本郷由希

【報告書作成者】中塚義実

＜目次＞

はじめに

1. 月例会と会員・メンバーの位置づけ

2. サロンからの情報発信

—U-18 フットサルの活かし方

3. 月例会の名称・あり方

4. 今年度の公開シンポジウム

5. その他

はじめに

特定非営利活動法人サロン2002の、2020年度通常総会が先ほど終了しました。はじめてのオンライン総会でしたが、「with コロナ」の時代に向けてのステップです。

総会では細部についての議論はできませんが、この場ではスポネットメンバーの方々と自由に意見交換できればと思います。用意したテーマは次のとおりですが、すべて関係してきます。

I. NPOサロンの各事業について：「with コロナ」の時代にどう向き合うか

1. 第5回U-18フットサルリーグチャンピオンズカップ…7月初旬の月例会でも取り上げます
2. 月例会 … オンラインの有効性と留意点／月例会参加費について／認知度アップのために
3. 公開シンポジウム2020 … 「新型コロナ」を中心に「これから」について取り上げたい

II. サロン2002の今後について

1. 認知度アップのために何ができるか／何をすべきか
2. Give and Takeをどう捉えるか
—NPO会員～スポネットメンバー～月例会参加者の違いは？ メリットは？
3. 新たな時代に向けて

1. 月例会と会員・メンバーの位置づけ

中塚：月例会は、会員・メンバーが互いに話題提供し合いながらここまで進めてきた。多様な人材がいるので話題も多岐に渡る。参加費 1,000 円を徴収し、発表者・報告書作成者には各 1 万円を、準備や報告書作成にかかる時間への対価として支払うのがルール。20 名の参加者を集めないと赤字になる計算で、実際 2019 年度は赤字だった。

いろいろ見直す中で、「身内で発表しているのだから発表者謝金はなくてよいのでは」となり、報告書作成費も 5,000 円に戻すことになった。5,000 円の根拠は、私がすべて報告書を作っていた時代、「5 時間ぐらいでできる（修正作業等を含めるともっとかかるが）」ことから算出したもの。法人化を機に 10,000 円に上げていたのを、財政逼迫状況下で元に戻すことにした。2020 年度予算では、3 回程度、謝金を払うべき方（メンバー外の方）がいる想定で予算を組んだ。

4 月からのオンライン月例会は会員・メンバーに限定し、参加費無料で開催した。これからも対面とオンラインを併用する可能性を考えると、参加費徴収の議論は必要。理事会でも意見は分かれている。まずはこのあたりから。

笹原：月例会のあり方を考えるにあたり、会員・メンバー・参加者の違いを整理してみた。

	一般	無料登録者	メンバー	会員
HP閲覧（一般情報）	○	○	○	○
HP閲覧（メンバー専用情報）	×	×	○	○
Slack参加	×	×	○	○
サロン通信配信	×	○	○	○
イベント案内	×	○	○	○
ML登録	×	×	○	○
月例会	有料	有料	無料	無料
シンポジウム	有料	有料	割引or無料	割引or無料
その他イベント	有料	有料	割引or無料	割引or無料
総会議決	×	×	×	○

会員・メンバーに加え「無料登録者」というカテゴリーを設けてみた。登録しておけば各種情報が届くという立て付け。会員とメンバーの違いは、総会での議決権があるかないかだけ。

この表をたたき台にして議論してもらえればと思います。

岸：この表には個人の会員・メンバーのことが書かれているが、賛助団体を増やさないと NPO サロンの収支は改善されない。サロンの価値をどう訴えるか。とくにコロナの時代だからこそ訴えかけられるものがあると思う。

<このあとしばらくは、この表をめぐる意見交換があった>

2. サロンからの情報発信—U-18 フットサルの活かし方

安藤：月例会の、ある場面を動画配信してアピールするのもありではないか。

中塚：月例会の中身の公開は慎重に考えたい。「公開されるなら話せない」ことも多々ある。月例会に来たからこそ得られる貴重な情報もある。よってこれまで月例会報告は、参加者の確認を経て、公開できるものを作成してきた。

笹原：U-18 フットサルの試合中継はできないか。かなり魅力あるコンテンツだと思う。

本多：技術的には問題ない。しかし例えば、神戸グリーンアリーナの場合、動画を配信すると施設に6万円払わなければならない。ユーチューブの広告が入るからダメなど、いろんな規制がある。千曲市の体育館がどうなっているかは未確認。

中塚：技術的な問題や金銭面とともに、肖像権の問題がある。未成年なので保護者の同意が必要か。

本多：市民マラソンの場合は、動画使用の可能性のあることをあらかじめ承諾書をとっている。

〇〇：露出ということだと、U-18 フットサルはどんどん出していくべきだと思う。過去のU-18大会に出場した選手がその後どうなっているかなど、貴重な情報となる。

中塚：1月の月例会を機に世論を盛り上げ、商品化までもと目論んでいた「GKのヘッドギア」の件は？

関：ヘッドギアの件は、コロナの関係で取材等が前へ進まず、ストップしている。

お金が集まる魅力的な法人となるためには何をすべきかから考えていくべき。賛助会員の話はその先についてくることになる。会費を低額に抑える。月例会はメンバーを増やす機会ととらえるというのが私の持論。

3. 月例会の名称・あり方

笹原：「月例会」の名前を変えるという話も理事会で出ていた。「オンラインサロン」「月例セミナー」などの提案があった。

本郷：「月例会」というと、毎月ちゃんと出席しなくてはならないイメージがあった。

浅見：「月例会」には秘密めいたニュアンスが感じられた。

茅野：サロンが社交会だとするなら、クローズドにしてきた良さはある。オープンにした時にその性質が変わる可能性がある。

〇〇：インナーなものとオープンなものがあるってよいのではないかな。

〇〇：メンバーを広げるためには「オープンセミナー」があった方がよい。ただしオンライン導入に伴うルール化は必要か。

本郷：いまの月例会はクローズドな感じ。それはそれでいい。知り合いを誘ってくる場として続いていく形がいい。それに加え、参加費をとって人集めする場が年1~2回あってよい。例えば「宇都宮徹壺さんが登壇します」と言えば人は集まるだろう。けどこういうのは月例会とは別の場となるだろうか。

岸：7月の月例会でU-18フットサル大会を取り上げるようだが、以前のボッチャ交流会のときもそうだったが、作戦会議の性格を持つ会と月例会を分けて考える方がよいのではないか。月例会はあくまでも開かれた会として考える方がよい。

金子：今後もオンライン参加ができるようにしてほしい。北海道からも参加できる。

〇〇：月例会が単発なのはもったいないと感じる。シリーズものにしてくれれば、続けて参加できる。

中塚：年度でテーマを設けて実施したことはある（2012年度の「育成期」など）。いまやっている「新型コロナ」も、たまたまそうなっているだけではあるが、シリーズ化しているともいえる。ただ、いろんな話題があっているんな人がやってくることを重視して、あえて単発でやってきた部分もある。

浅見：内容がつながっている方が、連続参加する人が増えて定着するのではないか。参加者に「次回までの宿題」を課して次回につなげるとか…。話を聞くだけだと他人ごとだけど、自分も関わるようにすると変わってくるのでは。月例会は、自分にとっての「当たり前」が、他の分野ではどうなのかを聞ける機会として貴重。現場でこういうことはできないかと、考えるヒントがある。

4. 今年度の公開シンポジウム

中塚：当初は「スポーツとアート」をテーマに演者の選考も進め、打診していたのだが、それどころではなくなった。やはり今年は「新型コロナ」を軸に企画するのがよいだろう。12月開催。ライブかオンラインか、その併用かは未定。自由にご意見いただきたい。

浅見：「新型コロナ」の話題は、どのセミナーに行っても同じような話—ガイドラインの話や対策をどうするかなどの一般的な話—に終始する。もっと具体的に、実用的なヒントがほしい。こうなる前にやっておいたことが、コロナ対策でも生きたような、次につながる話がほしい。具体的なゴールが見えないと消化不良に陥る。

中塚：オンライン教育についていうと、うちの学校はSGH（スーパーグローバルハイスクール）に認定されたことでオンライン環境が整備されてきたことが、こうなった中でもいち早くオンライン授業を導入できたことにつながっている。こういう話はいろんな分野であるのではないか。このような藩士を集めて公開シンポジウムで取り上げたい。

5. その他

関：オリンピックが1年延期になってしまったけど、よい取り組みは全国各地にある。こちらで勝手にそのような取り組みを見つけて「勝手に金メダル」のようなものはおもしろい。サロンならではの表彰など。

<ほかにもさまざまな意見が出た。そのうち18時になったの懇親会に移行、さらに盛り上がる>